

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103 - 241	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	論Ⅱ 716	be English Logic and ExpressionⅡ Clear		

1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、多文化共生時代を生きるために求められる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、それを具現化するために次の3点を編修の基本方針としました。

① 「知識・技能」の観点（第1号）

- ・英語で表現するための語彙力、文法力、表現力を育てる。
- ・英語の言語材料を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- ・英語でのアウトプット（スピーキングとライティング）の技能を鍛える。

→語彙力、文法力、表現力を育てるためのコーナーをレッスン内に配置しています。

- F**orms 英語で発信するために必要な英語の基本形（文法）を理解する。
- G**-GUIDE 個々の文法の意味や働きを把握する。
- E**xpressions 論理的な構成や展開の工夫を学習する。
- V**ocabulary テーマに関する語彙を増やす。
- CHECK** 言語活動の準備として文法項目の知識の確認をする。

② 「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号、第5号）

- ・物事を論理的に思考する力を育てる。
- ・現象を分析し、傾向性や因果関係などを判断する力を育てる。
- ・英語での会話、事物の描写、論理展開などを学習して、自己表現力・対話力を育てる。

→現象を分析し因果関係などを判断する力や、論理的に思考する力を育てるためのコーナーを用意しました。

- [Introduction]** (pp.6～15) 論理的に考えたり伝えたりすることの意味や重要性、それと表現との関連などを解説。
- T**ips for Logical Thinking (各課1ページ目) 各課テーマに関して書いたり話したりする際の、論理的観点からのアドバイス。

→各レッスンでは課ごとのテーマで自分のことを表現するさまざまなTASKを設けています。話す（やり取り・発表）活動、書く活動をバランスよく、また有機的に組み合わせて置きました。

- TASK** > やり取り 発表 書く

③ 「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号，第3号）

- ・「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- ・他者との協働を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

→学習到達目標を提示することにより、主体的に学習に取り組む態度を育みます。

レッスンごとの学習到達目標を Self-Check、Zone ごとの学習到達目標を Study Flow として提示し、英語で表現する意欲と主体性を持たせます。学習の振り返りと自己評価も行えるようになっています。

→主体的・対話的に学習に取り組む活動を、各課のゴールに置きました。

Active **L**earning （各課4ページ目）各課のゴールとなる4ページ目を **Active Learning** と題し、与えられたテーマについて主体的に考えたり調べたりしたうえで、自己発信を行う場としました。



グループで情報交換を行うステップを毎回踏ませることで、協働を通して新たな可能性を創り出す共創力が育めるように設計しました。



SHARE で話した内容に関して、自分の意見をまとめます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
各 レ ッ ス ン 1 ペ ー ジ 目 〜 4 ペ ー ジ 目	LESSON 1～15	高校生にとって身近な「趣味」「学習・課外活動」「ソーシャルメディア」などのほか、「幸福・ストレス」「文化の多様性」「SDGs」など、幅広い多様なテーマや場面を取り上げました。 (第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。)	各レッスンの： 1ページ目 Start-Up 4ページ目 ACTIVE Learning
	LESSON 5, 8	自主・自律の精神を養うため、「ボランティア活動」「未来予測」をテーマに取り上げました。 (第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。)	37~40, 53~56 ページ
	LESSON 6, 13, 14	社会に積極的に参画する心を育むため、「地域活性」「人口問題」「人権と平等」などをテーマに取り上げました。 (第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。)	41~44, 81~84, 85~88 ページ
	LESSON 9	生命、生き方や生活環境について考えさせるため、「幸福」などのテーマを取り上げて、思考したり、表現したりする活動を設けました。(第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。)	57~60 ページ
	LESSON 7, 10, 11, 12, 15	言語や異文化に対する理解や関心が深まるように、「世界の言語」「世界のデータ比較」「文化の多様性」「日本の文化」「平和な世界」など、自国や他国の文化や習慣、技術、諸問題に関するテーマを取り上げ、思考したり表現したりする活動を設けました。 (第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。)	49~52, 65~68, 69~72, 73~76, 89~92 ページ
目 次 1 ペ ー ジ	Forms	当該レッスンで扱う学習項目の解説をし、その記述を生徒にとって分かりやすいものにする一方で、主体的に予習と復習をする学習習慣を身に付けることができるように工夫しました。(第2号)	各レッスンの1ページ目

ページ目 2 3	・TASK ・CHECK	各3領域の技能を用いて表現をする活動を有機的に組み合わせて、言語の統合的な理解を促す構成としました。(第1号)	各レッスンの2-3ページ目
ページ目 4	・SHARE ・WRITE	SHAREとWRITEでは、社会の形成に参画する喜びを与えるように工夫しました。(第3号)	各レッスンの4ページ目
コラム	・Tips for English Expressions ①～③ ・EXTENSION	言語について、幅広い知識と教養を身に付ける扶助となるコラムや資料ページを設けました。(第1号)	・29, 45, 77ページ ・61, 93ページ
発信活動	・スクリプト・ライティングをしてみよう! ・スピーチをしてみよう! ・プレゼンテーションをしてみよう! ・ディベートをしてみよう! ・ディスカッションをしてみよう! ・パラグラフを書いてみよう!	・相手の気持ちを配慮しつつ、意図を円滑に伝達するための知識を提供しました。(第1号) ・社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法(ライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど)の知識を提供しました。(第2号) ・94ページでは、「ジェンダーの平等」のテーマを取り上げ、そのことについて思考したり、表現したりする活動を含めました。(第3号)	・30-31ページ(スクリプト) ・46-47ページ(スピーチ) ・62-63ページ(プレゼンテーション) ・78-79ページ(ディベート) ・94-95ページ(ディスカッション) ・96-107ページ(パラグラフ)
返し 後見	Study Flow	生徒自身が目標を意識し、学習意欲を向上させることができるように、学習到達目標を一覧形式で表示しました。(第2号)	後見返し

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 学習上の配慮

- ・題材や登場する人物などについては、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に留意しました。
- ・豊かな人間性、創造性の獲得に資するため、紙面全体を通じて美しく読みやすい書体や、色彩豊かなデザイン、親しみやすいイラストを用いるように心がけました。
- ・各レッスンのStart-Upと、Interactionsの基本例文は、音声を二次元コードで提供し、学習者が自由に再生して学べるようにしました。

② 題材の選定

- ・性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努め、広いものの見方ができるように配慮しました。
- ・題材の内容は、学校生活、日常生活、ボランティア、幸福、メディア、文化、社会問題など、さまざまな分野から選びました。

③ 円滑な導入

- ・論理の構成や展開を工夫して情報や考えを伝えられるようになるための準備として、Introductionページを設けました。さまざまなテーマについて自分で考え、次にペアで話し、文章にします。

④ 環境への配慮

- ・管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- ・植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103 - 241	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	論Ⅱ 716	be English Logic and ExpressionⅡ Clear		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

- 1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深め, これらを実際のコミュニケーションにおいて目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせるため, 各レッスン中に **Speaking (音声)**, **Vocabulary (語彙)**, **Expressions (表現, 言語の働き)**, **Forms・F-GUIDE (文法)** と要素ごとに例を提示しました。
- 2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて外国語で考え, 情報の要点や, 話し手や書き手の意図などを的確に理解して, 論理的に表現したり伝え合ったりする力を養うため, 各レッスン中に **Tips for Logical Thinking** などの解説を用意しました。
- 3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 相手に配慮しながら主体的, 自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うため, **Tips for English Expression** という異文化コミュニケーションを行う際の留意点を解説するコラムページを用意しました。

(2) 論理・表現Ⅱの目標を実現するための工夫

英語学習の特質を踏まえ, 話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くことの3つの領域別に設定された目標の実現のため, レッスンごとにテーマを設け, そのテーマで自分のことを表現するさまざまなタスクを配置し, 英語の表現力を育成できるよう設計しました。

学習目標をレッスンごとゾーンごとに明示し, 適切な分量のタスクを学びやすい順序で置くことで, 英語で表現する意欲と主体性を常に学習者に持たせられるよう留意しました。

各レッスンは, 「①導入→②定着→③発展」の3ステップ(4頁)の構成で, レッソンのゴールとなる③発展のステップでは, SHARE と WRITE の活動を通して情報や考え, 気持ち, 意見や主張を発信する力を養うことに主眼をおきました。

各レッスンのテーマには, 「日常生活」「学校生活」といった身近なものから, 「文化の多様性」「人権と平等」といった社会的なものまで選び, 論理・表現Ⅰよりも幅広い話題について伝える力を養えるよう配慮しました。

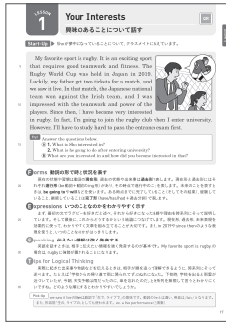
レッスン以外には, 以下を用意しました。

- ・ **Introduction** (pp.6～15): 論理的に考えるための練習を行うことを目的としたページ。
- ・ **発信活動のページ**(スピーチをしてみよう! ほか): 各 Zone の最後に, 事実や意見などを多様な観点から考察し, 論理の構成や展開を工夫しながら伝える能力を伸ばす方法をまとめています。

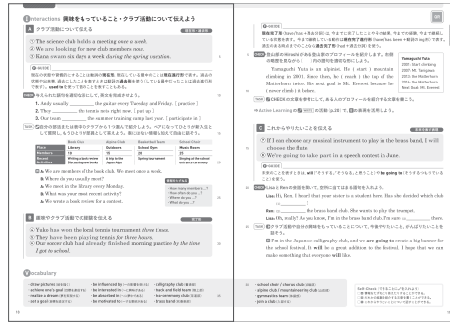
(3) 各レッスンの構成

各レッスンの「①導入→②定着→③発展」の3ステップ(4頁)構成の詳細は, 以下の通りです。ステップごとに学習上の目的を明示し, 教師にも学習者にも学習の過程が一目で分かるようレイアウトを工夫しました。

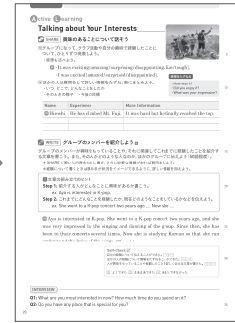
①導入



②定着



③発展



① **導入（授業への導入）** さまざまな話題と論理形式のパラグラフ（Start-Up）を提示して、英語の形や語順、表現、発音・アクセント・イントネーションを意識しながら発話する練習をします。

Start-Up レッスンごとに設定したテーマにそった英文で学習ポイントを学びます。Try! の設問で内容理解の確認ができます。

Forms 英語で発信するために必要な英語の基本形（文法）を理解します。

Expressions 論理的な構成や展開の工夫を学びます。

Speaking 話す内容が伝わるように、発音・アクセント・イントネーションの確認をします。

Tips for Logical Thinking 論理的な文章をつくるためのヒントを紹介しています。

② **定着（Interactions）** レッソンのテーマにそった話題で、学習する文法項目を使って言語活動を行うことを目的とします。さまざまな CHECK（文法と知識の確認問題）と TASK（話す [やり取り], 話す [発表], 書く, の活動）を通して思考・判断・表現の力を身に付けます。

③ **発展（Active Learning）** レッソンのテーマにそったトピックに関する言語活動を行います。「話す」活動や「書く」活動を積極的に行うことで、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える力をつけます。

SHARE 情報や考え、気持ちなどを、グループやクラスメイトに話して情報交換します。

WRITE 意見や主張などのまとまった文章を、書いて伝えます。

学習到達目標の提示

上記に加えて、レッスンごとの学習到達目標を Self-Check、Zone ごとの学習到達目標を Study Flow として提示することで、学習者に英語で表現する意欲と主体性を持たせることに意を用いています。

● **Self-Check** : 各レッスンの 3、4 ページ目に掲載。学習到達目標をチェック欄とともに提示。

● **Study Flow** : 教科書の後見返しに掲載。各レッスン、各ゾーンの学習到達目標をチェック欄とともに提示。

レッスン以外のページ

● **前見返し** : 英語による授業に活用できるよう「コミュニケーションにつながる英語表現」を整理して掲載しています。

● **Tips for English Expression** : 「気持ちを伝えよう!」「考えを伝えよう!」「英語らしさと日本語らしさ」など、英語の背景にある文化に対する理解を踏まえて、聞き手や読み手に配慮してきちんとした意思疎通ができるための情報とアドバイスを提供しています。

● **EXTENSION** : レッスンで学習する内容の発展的情報を提供する資料ページです。

● **発信活動** : 「スピーチをしてみよう!」「プレゼンテーションをしてみよう!」「ディベートをしてみよう!」「ディスカッションをしてみよう!」では、それぞれの発信活動に必要な表現や構成を学び、実践します。

● **パラグラフを書いてみよう!** : 英語のパラグラフ構成の基本を学習します。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容								該当箇所	配当時間
教材名	言語材料	(1)	(2)	(3)							
				①言語活動				②言語の働き			
				ア	イ	ウ	エ	ア 使用場面	イ 働き		
LESSON 1 Your Interests	現在形・過去形・完了形・will・be going to	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校, 家庭	(ア) 質問する	pp.17-20	2
LESSON 2 Your Daily Life	不定詞(名詞用法)・動名詞・名詞節	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校 (イ) 動画 (ウ) 台本	(オ) 誘う	pp.21-24	2
LESSON 3 Your School Life	can / may / must / should・推量を表す助動詞・助動詞+ have + 過去分詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校 (イ) インターネット	(ウ) 説明する (オ) 交渉する	pp.25-28	2
スクリプト・ライティングをしてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ		(ア)		(ア)			pp.30-31	2
LESSON 4 Media Literacy	形容詞・分詞・分詞形容詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) SNS	(エ) 意見を言う	pp.33-36	2
LESSON 5 Helping Others	名詞+形容詞句・前置詞句・名詞+分詞句・名詞+不定詞句	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 地域	(ウ) 理由を述べる (オ) 相手の意見を聞く	pp.37-40	2
LESSON 6 Introducing Your Town	関係代名詞・関係副詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 地域 (ウ) 旅行	(エ) 提案する	pp.41-44	2
スピーチをしてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ	ア		(イ)				p.46-47	2
LESSON 7 Languages of the World	副詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(イ) 世界の言語	(エ) 同意する・しない	pp.49-52	2
LESSON 8 Imagining the Future	不定詞(副詞用法)・不定詞を使う表現・分詞を使う表現	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) 食料問題 (ウ) 日記	(ア) 確認する	pp.53-56	2
LESSON 9 Happiness and Stress	副詞節	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 家庭, 地域	(ア) 相づちを打つ	pp.57-60	2
プレゼンテーションをしてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ	ア		(イ)				pp.62-63	2
LESSON 10 Comparing Countries	原級を使う比較・比較級を使う比較・最上級を使う比較	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (イ) 映画 (ウ) データ・グラフ	(オ) 注意をひく	pp.65-68	2
LESSON 11 Cultural Diversity	仮定法過去・仮定法過去完了・wish / if only / as if	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 学校 (ウ) スピーチ原稿	(エ) 仮定する (オ) 理由をたずねる	pp.69-72	2

LESSON 12 Japanese Customs	要求・必要を表す表現・認識の表現・時制の一致・話法	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 学校, 地域 (ウ) 食事	(エ) 主張する (イ) 感謝する	pp.73-76	2
ディベートをしてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ	ア	(イ)					pp.78-79	2
LESSON 13 Population Issues	「ある」「いる」の表現・「なる」「するようになる」の表現・「かかる」の表現	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (イ) 人口問題	(イ) 共感する	pp.81-84	2
LESSON 14 Rights and Equality	使役動詞・分詞を使う「させる・される」の表現・知覚動詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (イ) 人権問題	(エ) 提案する ・反論する	pp.85-88	2
LESSON 15 Think Globally, Act Locally	無生物主語 ・日本語と違う表し方	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 学校 (イ) SDGs	(ア) 話を切り出す	pp.89-92	2
ディスカッションをしてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ	ア	(イ)					pp.94-95	2
パラグラフを書いてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ	ア			(イ)			pp.96-107	2
計											42